松本ろう学校だより



7号

松本ろう学校
令和8年10月16日発行



中高部
松聾鳩太鼓







第56回 はと祭

絆のキセキ ～宇宙にとどけみんなの笑顔～

令和8年10月10日(土)

9:25～14:50(一般公開)

松本ろう学校・寿台支援学校松ろうキャンパス



小学部
どれみのは





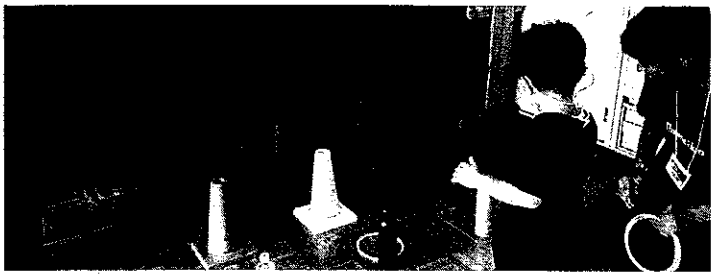




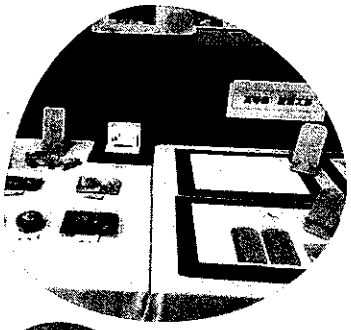




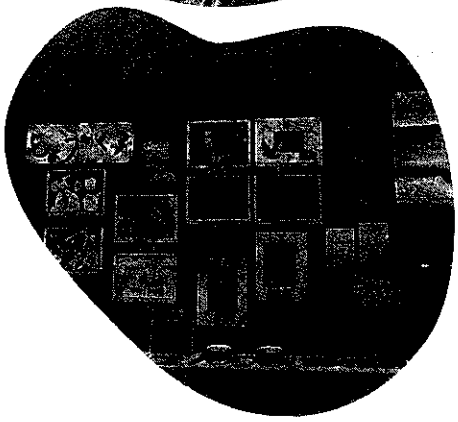
幼稚部
ブレーメンの
音楽隊



文化祭で見せた子どもたちの確かな成長



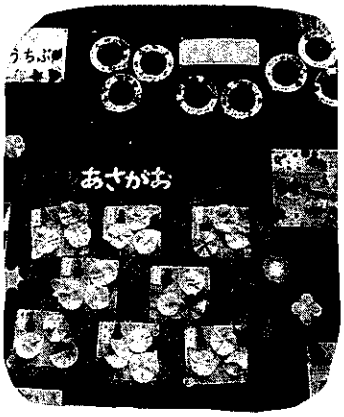
先日は、本校のはと祭にお越しいただき、また温かい拍手とたくさんの応援をいただき、本当にありがとうございました。皆さまの温かいまなざしに見守られ、子どもたちは日頃の学習の成果を舞台の上で堂々と発表することができました。



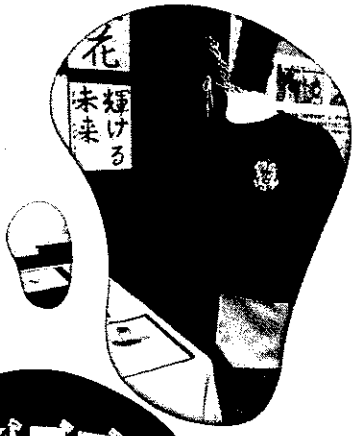
幼稚部と小学部の子どもたちは、今回の劇への取り組みを通して、「ことば」と「心」の面で大きな成長を見せてくれました。

大好きな役になりきり、どうすれば観客席まで気持ちが届くかを授業の中で何度も考え練習してきました。当日は、大きく丁寧な手話、豊かな表情、心を込めた言葉が舞台上で生き生きと弾け、日頃の積み重ねが素晴らしい表現となって花開きました。

ステージの上で、子どもたちは「友達や先生の動きをよく見る」「視線で次の合図を送り合う」といったきめ細やかな関わり合いをしていました。仲間を信頼しているからこそできたことです。一つの舞台を全員で作り上げた経験は、深い絆と責任感を育てたことでしょう。



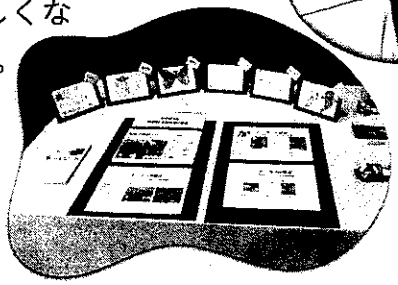
中高部の太鼓演奏では、音と振動をエネルギーとして全身で捉え、それを力強い一打に変えていく姿に圧倒されました。生徒たちは「仲間のバチ」や「お互いの太鼓から伝わる空気の振動」を敏感に察知し、目と目を合わせ、呼吸を一つにしてリズムを刻むことで、見事な一体感を生んでいました。この経験が、仲間への深い信頼感と、集団を動かす責任感を育てたと思います。



そして、発表を終えたときの子どもたちの、きらきらとした誇らしげな笑顔がとても印象的でした。大好きな人たちに認められ、たくさんの拍手を五感で受け止めた経験は、「やり遂げた！」という一生ものの自信として、これからの学校生活の大きな力になるはずです。

はと祭を一つの節目として、子どもたちはまた一歩たくましくなりました。これまでの温かいご支援に心より感謝申し上げます。本校のはと祭を準備から本番まで支えてくださった、たくさんのボランティアの方々にも感謝です。

本当にありがとうございました。



松本ろう学校は令和10年度に創立100周年を迎えます



◎ご意見・ご要望・ご感想等がありましたらこちらまでお寄せください
長野県松本ろう学校（教頭 森村）
TEL 0263-58-3094　FAX 0263-85-1411
http：//www.nagano-c.ed.jp/matsuro/